

平成26年1月17日

株式会社アクリフーズ

代表取締役社長 田辺 裕 様

一般社団法人 北海道消費者協会
会長 橋本 智子

商品回収の徹底と製品安全確保策についての緊急要請

貴社製造の農薬混入冷凍食品による健康被害は、全国的に拡大しています。北海道内においても、各保健所に500人を超える消費者から健康被害相談が寄せられています。

昨年の偽装表示・虚偽表示の横行に続いての今回の問題は、消費者の不安と怒りを掻き立て、食品業界へのかつてないほどの不信を招いています。

それにもかかわらず、農薬混入の公表が遅れる等、貴社の危機管理意識は薄く、回収作業も後手に回っています。

今、早急に必要なのは、これ以上の健康被害を発生させないため、対象商品の速やかな完全回収です。

さらに、「食の安全・安心」確保の点からも、農薬混入の早期原因究明と今後の未然防止策の確立が急務です。

については、下記の点について早急に取り組まれるよう申し入れます。

記

1. これ以上の健康被害を拡大させないため、対象商品の早期完全回収へ向け、全社挙げて取り組むこと。
2. 農薬混入の原因究明を、関係機関と連携し全社挙げて取り組むこと。
3. 消費者の健康と安全を守る製造責任体制の構築と、法令の遵守等全社挙げて取り組むこと。

平成 26 年 1 月 17 日

株式会社マルハニチロホールディングス
代表取締役社長 久代 敏夫 様

一般社団法人 北海道消費者協会
会長 橋本 智子

商品回収の徹底と製品安全確保策についての緊急要請

貴グループ（株）アクリフーズ社製造の農薬混入冷凍食品による健康被害は、全国的に拡大しています。北海道内においても、各保健所に500人を超える消費者から健康被害相談が寄せられています。

昨年の偽装表示・虚偽表示の横行に続いての今回の問題は、消費者の不安と怒りを掻き立て、食品業界へのかつてないほどの不信を招いています。

それにもかかわらず、農薬混入の公表が遅れる等、貴社の危機管理意識は薄く、回収作業も後手に回っています。

今、早急に必要なのは、これ以上の健康被害を発生させないため、対象商品の速やかな完全回収です。

さらに、「食の安全・安心」確保の点からも、農薬混入の早期原因究明と今後の未然防止策の確立が急務です。

については、下記の点について早急に取り組まれるよう申し入れます。

記

1. これ以上の健康被害を拡大させないため、対象商品の早期完全回収へ向け、全グループ社挙げて取り組むこと。
2. 農薬混入の原因究明を、関係機関と連携し全グループ社挙げて取り組むこと。
3. 消費者の健康と安全を守る製造責任体制の構築と、法令の遵守等全グループ社挙げて取り組むこと。

平成 26 年 1 月 17 日

一般社団法人 日本冷凍食品協会
会長 伊藤 雅俊 様

一般社団法人 北海道消費者協会
会長 橋本 智子

冷凍食品の安全性確保についての緊急要請

貴会員である（株）アクリフーズ社製造の農薬混入冷凍食品による健康被害は、全国的に拡大しています。北海道内においても、各保健所に 500 人を超える消費者から健康被害相談が寄せられています。

昨年の偽装表示・虚偽表示の横行に続いての今回の問題は、消費者の不安と怒りを掻き立て、食品業界へのかつてないほどの不信を招いています。

それにもかかわらず、（株）アクリフーズ社の危機管理意識は薄く、回収作業は後手に回っています。

今、早急に必要なのは、これ以上の健康被害を発生させないため、対象商品の速やかな回収です。

さらに、消費者の「安全・安心」確保の点からも、農薬混入の早期原因究明と今後の未然防止策の確立が急務です。

については、貴団体として下記の点について、早急に取り組まれるよう要望します。

記

1. これ以上の健康被害を拡大させないため、現在（株）アクリフーズ社が進めている対象商品の回収や農薬混入の原因究明等への、支援協力方について要望します。
2. 消費者の健康と安全を守る製造責任体制の構築と、法令の遵守等を、加盟会員企業に対し周知徹底されるよう要望します。

平成 26 年 1 月 17 日

厚生労働大臣 田村 憲久 様

一般社団法人 北海道消費者協会
会長 橋本 智子

冷凍食品の安全性確保についての緊急要請

(株) アクリフーズ社製造の農薬混入冷凍食品による健康被害は、全国的に拡大しています。北海道内においても、各保健所に 500 人を超える消費者から健康被害相談が寄せられています。

昨年の偽装表示・虚偽表示の横行に続いての今回の問題は、消費者の不安と怒りを掻き立て、食品業界へのかつてないほどの不信を招いています。

それにもかかわらず、(株) アクリフーズ社の危機管理意識は薄く、回収作業は後手に回っています。

今、早急に必要なのは、これ以上の健康被害を発生させないため、対象商品の速やかな完全回収です。

さらに、農薬混入の早期原因究明と今後の未然防止策の確立が急務です。

つきましては、国として「食の安全・安心」を守る立場から、下記の点について早急に取り組まれるよう要望します。

記

1. これ以上の健康被害を拡大させないため、対象商品の早期完全回収へ向けての指導や農薬混入の早期原因究明について要望します。
2. 今回の回収対象商品のうち、製造元の記載のない商品が 10 品目（他社のプライベートブランド商品）あり、誤って食べてしまう可能性が指摘されています。今回の事故を受け、他社のプライベートブランド商品においても、製造元記載を義務化するよう要望します。
3. 冷凍食品製造事業者はもとより、全食品製造事業者に対し、国民の健康と安全を守る製造責任体制の構築、並びに法令の遵守等の指導強化について要望します。

平成 26 年 1 月 17 日

農林水産大臣 林 芳 正 様

一般社団法人 北海道消費者協会
会 長 橋 本 智 子

冷凍食品の安全性確保についての緊急要請

(株) アクリフーズ社製造の農薬混入冷凍食品による健康被害は、全国的に拡大しています。北海道内においても、各保健所に 500 人を超える消費者から健康被害相談が寄せられています。

昨年の偽装表示・虚偽表示の横行に続いての今回の問題は、消費者の不安と怒りを掻き立て、食品業界へのかつてないほどの不信を招いています。

それにもかかわらず、(株) アクリフーズ社の危機管理意識は薄く、回収作業は後手に回っています。

今、早急に必要なのは、これ以上の健康被害を発生させないため、対象商品の速やかな完全回収です。

さらに、農薬混入の早期原因究明と今後の未然防止策の確立が急務です。

つきましては、国として「食の安全・安心」を守る立場から、下記の点について早急に取り組まれるよう要望します。

記

1. これ以上の健康被害を拡大させないため、対象商品の早期完全回収へ向けての指導や農薬混入の早期原因究明について要望します。
2. 今回の回収対象商品のうち、製造元の記載のない商品が 10 品目（他社のプライベートブランド商品）あり、誤って食べてしまう可能性が指摘されています。今回の事故を受け、他社のプライベートブランド商品においても、製造元記載を義務化するよう要望します。
3. 冷凍食品製造事業者はもとより、全食品製造事業者に対し、国民の健康と安全を守る製造責任体制の構築、並びに法令の遵守等の指導強化について要望します。

平成 26 年 1 月 17 日

消費者担当大臣 森 雅子 様

一般社団法人 北海道消費者協会
会長 橋本 智子

冷凍食品の安全性確保についての緊急要請

(株) アクリフーズ社製造の農薬混入冷凍食品による健康被害は、全国的に拡大しています。北海道内においても、各保健所に 500 人を超える消費者から健康被害相談が寄せられています。

昨年の偽装表示・虚偽表示の横行に続いての今回の問題は、消費者の不安と怒りを掻き立て、食品業界へのかつてないほどの不信を招いています。

それにもかかわらず、(株) アクリフーズ社の危機管理意識は薄く、回収作業は後手に回っています。

今、早急に必要なのは、これ以上の健康被害を発生させないため、対象商品の速やかな完全回収です。

さらに、農薬混入の早期原因究明と今後の未然防止策の確立が急務です。

つきましては、国として「食の安全・安心」を守る立場から、下記の点について早急に取り組まれるよう要望します。

記

1. これ以上の健康被害を拡大させないため、対象商品の早期完全回収へ向けての指導や農薬混入の早期原因究明について要望します。
2. 今回の回収対象商品のうち、製造元の記載のない商品が 10 品目（他社のプライベートブランド商品）あり、誤って食べてしまう可能性が指摘されています。今回の事故を受け、他社のプライベートブランド商品においても、製造元記載を義務化するよう要望します。
3. 冷凍食品製造事業者はもとより、全食品製造事業者に対し、国民の健康と安全を守る製造責任体制の構築、並びに法令の遵守等の指導強化について要望します。

平成 26 年 1 月 17 日

消費者庁長官 阿南 久 様

一般社団法人 北海道消費者協会
会長 橋本 智子

冷凍食品の安全性確保についての緊急要請

(株) アクリフーズ社製造の農薬混入冷凍食品による健康被害は、全国的に拡大しています。北海道内においても、各保健所に 500 人を超える消費者から健康被害相談が寄せられています。

昨年の偽装表示・虚偽表示の横行に続いての今回の問題は、消費者の不安と怒りを掻き立て、食品業界へのかつてないほどの不信を招いています。

それにもかかわらず、(株) アクリフーズ社の危機管理意識は薄く、回収作業は後手に回っています。

今、早急に必要なのは、これ以上の健康被害を発生させないため、対象商品の速やかな完全回収です。

さらに、農薬混入の早期原因究明と今後の未然防止策の確立が急務です。

つきましては、国として「食の安全・安心」を守る立場から、下記の点について早急に取り組まれるよう要望します。

記

1. これ以上の健康被害を拡大させないため、対象商品の早期完全回収へ向けての指導や農薬混入の早期原因究明について要望します。
2. 今回の回収対象商品のうち、製造元の記載のない商品が 10 品目（他社のプライベートブランド商品）あり、誤って食べてしまう可能性が指摘されています。今回の事故を受け、他社のプライベートブランド商品においても、製造元記載を義務化するよう要望します。
3. 冷凍食品製造事業者はもとより、全食品製造事業者に対し、国民の健康と安全を守る製造責任体制の構築、並びに法令の遵守等の指導強化について要望します。

平成 26 年 1 月 17 日

内閣府消費者委員会

委員長 河上 正二 様

一般社団法人 北海道消費者協会
会長 橋本 智子

冷凍食品の安全性確保についての緊急要請

(株) アクリフーズ社製造の農薬混入冷凍食品による健康被害は、全国的に拡大しています。北海道内においても、各保健所に 500 人を超える消費者から健康被害相談が寄せられています。

昨年の偽装表示・虚偽表示の横行に続いての今回の問題は、消費者の不安と怒りを掻き立て、食品業界へのかつてないほどの不信を招いています。

それにもかかわらず、(株) アクリフーズ社の危機管理意識は薄く、回収作業は後手に回っています。

今、早急に必要なのは、これ以上の健康被害を発生させないため、対象商品の速やかな完全回収です。

さらに、農薬混入の早期原因究明と今後の未然防止策の確立が急務です。

つきましては、国として「食の安全・安心」を守る立場から、下記の点について早急に取り組まれるよう要望します。

記

1. これ以上の健康被害を拡大させないため、対象商品の早期完全回収へ向けての指導や農薬混入の早期原因究明について要望します。
2. 今回の回収対象商品のうち、製造元の記載のない商品が 10 品目（他社のプライベートブランド商品）あり、誤って食べてしまう可能性が指摘されています。今回の事故を受け、他社のプライベートブランド商品においても、製造元記載を義務化するよう要望します。
3. 冷凍食品製造事業者はもとより、全食品製造事業者に対し、国民の健康と安全を守る製造責任体制の構築、並びに法令の遵守等の指導強化について要望します。